

平成 27 年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(9 枚中 その 1)

平成26年9月24日

9時00分～10時30分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(9 枚中 その 1)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

I. 次の英文を読み、以下の問いに解答しなさい。

(出典 : Reinhard, M.-A., Scharmach, M., & Stahlberg, D. (2013). Too exhausted to see the truth: Ego depletion and the ability to detect deception. *British Journal of Social Psychology*, 52, 618–630.
ただし、内容の一部を使用している)

平成 27 年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(9 枚中 その 2)

平成26年9月24日

9時00分～10時30分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(9 枚中 その 2)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

--

平成 27 年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(9 枚中 その 3)

平成26年9月24日

9時00分～10時30分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(9 枚中 その 3)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

--

平成 27 年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(9 枚中 その 4)

平成26年9月24日

9時00分～10時30分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(9 枚中 その 4)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

--

平成 27 年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(9 枚中 その 5)

平成26年9月24日

9時00分～10時30分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(9 枚中 その 5)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

--

平成 27 年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(9 枚中 その 6)

平成26年9月24日

9時00分～10時30分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(9 枚中 その 6)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

--

平成 27 年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(9 枚中 その 7)

平成26年9月24日

9時00分～10時30分

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	英語
------	----

(9 枚中 その 7)

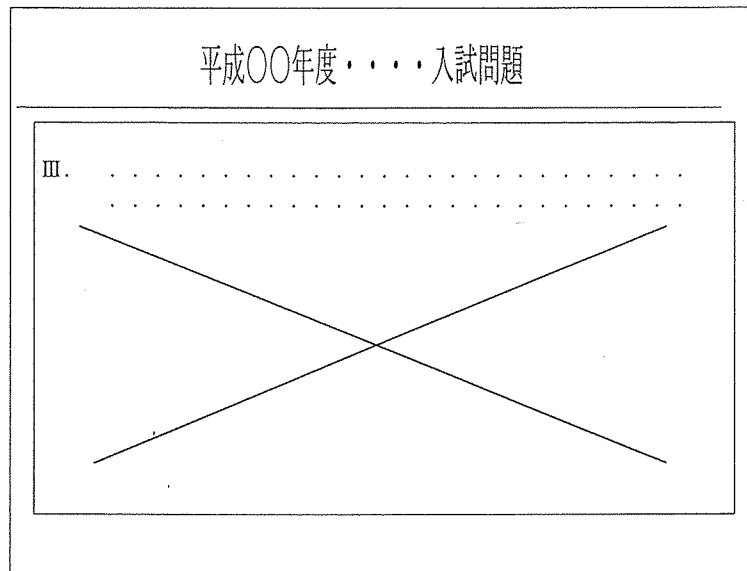
*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

deception 欺き, 虚偽
ego depletion 自我摩耗
veracity 正確性

以下の文をよく読んでから
解答に着手すること

1. 問題は I ～ V までの 5 問である。
2. 心理社会行動科学講座（高度専門職業人養成コースの場合は、心理行動科学分野）を受験する者は、I・II・IIIの3問と、IVもしくはVのうちいずれか1問を選択し、合計4問を解答すること。
3. 精神発達臨床科学講座（高度専門職業人養成コースの場合は、心理臨床科学分野）を受験する者は、IV・Vの2問と、I・II・IIIのうちから2問を選択し、合計4問を解答すること。
4. 選択しなかった問題については、下の例のように、大きく×印をつけること。



5. 5問すべての問題に解答したり、選択しなかった問題が不明確な場合は、すべての解答を無効とするので、十分注意すること。
6. 解答は、枠内にのみ記すこと。枠外や、裏面に書いても、採点の対象にはならない。
7. 解答は、指定がない場合は、必ず日本語で記すこと。

平成 27 年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 1)

平成26年9月24日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 1)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

I. Henri Tajfel & John C. Turner が 35 年前に提唱した社会的アイデンティティ理論が、今でも数多くの新しい研究を生成している。この理論はもともと人種偏見や人種差別の問題を究明する目的で考案されたが、社会心理学の領域に大きなインパクトを与え、「集団間心理学」という新たな分野が出現したほどである。この理論について、以下の問いに答えなさい。

問 1 この理論の概要を説明しなさい。

問 2 「最小条件集団パラダイム」に基づいた実験は、どのような行動を観察することを目標にしているのかを、簡単に説明しなさい。

問 3 ある他者の好ましくない行動を目撃したとしよう。その他者が自分と同じ「社会的カテゴリー」に属している場合と違った場合で、その行動の解釈や原因推論が異なり、前者には外的な帰属を、後者には内的な帰属を行う帰属バイアスを何と呼ぶか書きなさい。

平成 27 年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 2)

平成26年9月24日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 2)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

II. 次のそれぞれの問いに答えなさい。

問1 以下に2つの用語が対になって示されている。対になっている用語との違いが明確となるよう、それぞれ簡潔に説明しなさい。

(1) 顕在記憶 (explicit memory) - 潜在記憶 (implicit memory)

(2) 遂行目標 (performance goal) - 学習目標 (learning goal)

(3) トップダウン処理 (top-down processing) - ボトムアップ処理 (bottom-up processing)

問2 「適性処遇交互作用 (Aptitude Treatment Interaction)」とは何か。具体的な研究例を示しつつ説明しなさい。

平成 27 年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 3)

平成26年9月24日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 3)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

III. 次のそれぞれの問いに答えなさい。

問1 以下の3組の統計用語について、相違点が明確になるように簡潔に説明しなさい。

(1) 平均値と期待値

(2) 標準偏差と標準誤差

(3) 標本分散と不偏分散

問2 測定の(基準関連)妥当性の指標である妥当性係数と、測定の信頼性の指標である信頼性係数との関係を、以下の式にもとづいて考え、そのことから理解される測定の信頼性の意義について論じなさい。

X : テスト X の得点

Y : 外在基準 Y の得点

T_X : テスト X の真の得点

T_Y : 外在基準 Y の真の得点

$\rho(X)$: テスト X の信頼性係数

$\rho(Y)$: 外在基準 Y の信頼性係数

$$r(X, Y) = \sqrt{\rho(X)}\sqrt{\rho(Y)} r(T_X, T_Y)$$

平成 27 年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 4)

平成26年9月24日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 4)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

IV. 職業的発達について論じなさい。

平成 27 年度大学院博士課程前期課程入試問題

心理発達科学 専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 5)

平成26年9月24日

11時00分～13時00分

受験番号		氏名	
------	--	----	--

*整理番号	
-------	--

心理発達科学 専攻

試験科目	心理発達科学
------	--------

(5 枚中 その 5)

*整理番号	
-------	--

*印欄は受験生記入不要

V. 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

保健センターで子どもの心理相談を担当している臨床心理士に対して、母親 A さんから、3 歳 5 カ月の長男 B 君のことで相談の申し込みがあった。B 君は、かんしゃくがひどく、自分の気に入らないことがあると、大声をあげるとのことである。例えば、スーパーで欲しいお菓子を買ってもらえない時や、遊びを邪魔された時などに、突然奇声をあげて怒り出す。A さんは、言うことをきかない B 君に手を焼いてしまい、平手で叩いてしまうとのことである。A さんは、もともと自分としてはしっかりしていたつもりだったが、B 君の子育てがうまくいかないことですっかり参ってしまっており、最近はイライラすることが多く、気分が滅入っているとのことである。

B 君は、言葉の発達がやや遅く、現在でも、発音が不明瞭なところがある。生まれたときから、育てにくい子だった。じっとしていることができず、落ち着きがない。遊びは一人遊びが多く、会話のやりとりは続きにくい。A さんが B 君のことを夫に相談しようと思っても、夫は仕事で帰宅は夜遅く、なかなか相談できない。

問 B 君に起こっている問題を見立てて理解するためには、どのような要因を考慮すべきだろうか。可能な限り複数の要因を考慮に入れた上で、B 君の問題に対する仮説を記述しなさい。